

とちぎ夢大地応援団活動報告（9月25日実施）

‘16夢大地グランドワーク in かすお

鹿沼市中粕尾地区「水路清掃・耕作放棄地の草刈り」

「16 夢大地グランドワーク in かすお」が9月25日、和田用水ホタルの里親水公園および周辺農地等で開催されました。当日は夢大地応援団員44名（内ナルク栃木会員14名、県農政部職員21名）や地元育成会・ホタルの里の会関係者など総勢94名が、ホタル棲息地の水路清掃（主に外来植物のコカナダモの除去や草刈り、泥上げ）や耕作放棄地の草刈り、生き物観察や水路脇の休耕田への小松菜の種まきを行いました。

今年の活動では、新たに公園近くの荒れた農地約30aの草刈りが加わり、応援団員10名と地元の方とで背丈ほどにも伸びた雑草の刈払いを約2時間かかりで行いました。

水路清掃の後に行われた生き物観察では、自然観察員・渡辺知義さんの指導のもと、子供たちが採集した水辺の生き物を大人たちも一緒に観察しました。採集物には清流に棲む生き物が多数発見され、毎年の清掃によって水路の清らかさが維持されていることが証明されました。

昼食は、地元の女性たちが腕を振った地元産食材たっぷりのけんちん汁やゆで卵、おにぎりなどが振る舞われ、参加者たちは「おいしい！」と舌鼓を打っていました。

交流会では、参加者が感想を述べ合うなど交流を深め合い、最後に記念撮影をして散会しました。



「ボランティアの力を借りて水路を守っていききたい」開会式であいさつする若林ホタルの里の会代表



耕作放棄地 30a の草刈りに汗を流す応援団員と地元の人たち



約 2 時間がかかりきれいに刈り払われました



こちらは水路清掃チーム



▲親子で水辺の生き物採集

▼渡辺先生と子供たちの生き物観察会





小松菜の種まきをする参加者たち



草刈り隊の記念撮影



おいしい昼食に舌鼓の応援団員



交流会で感想を述べる県農政部若手職員